プロジェクト４　人口（他からの移入）　グループ 18

３１Ｈ　高橋 優太　３２Ｈ　宗広 亨太　３２Ｈ　三野 遥愛
３４Ｈ　山口 慧悟　３５Ｈ　森本 真衣　３６Ｈ　渡邊 大将

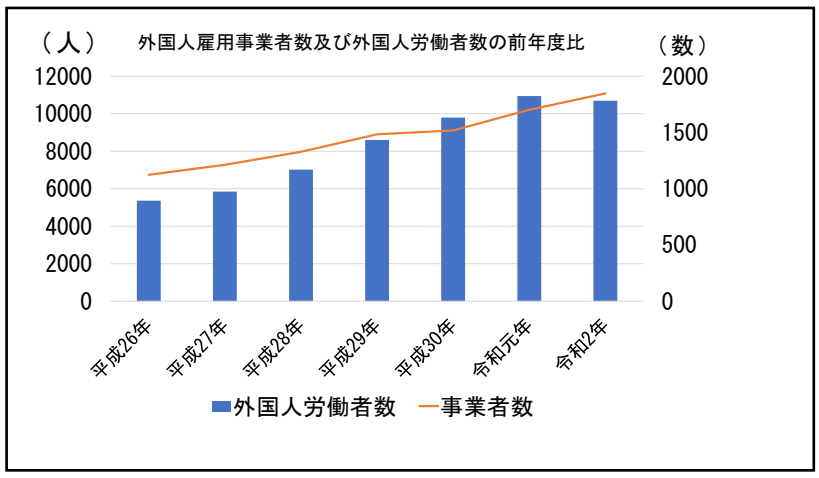
■課題

外国人が日本語を学ぶ場が少なく、住みにくいため、外国人の移入人口が少ない。

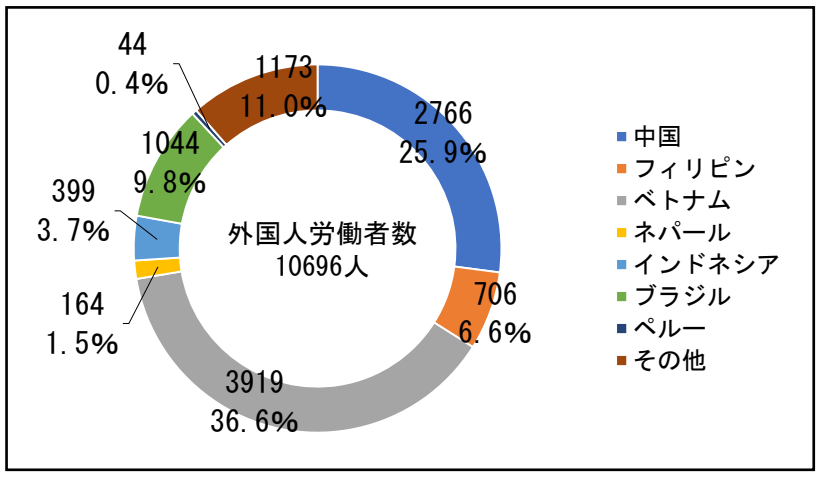
■解決策

日常生活や日本語学習の支援拠点を作る。

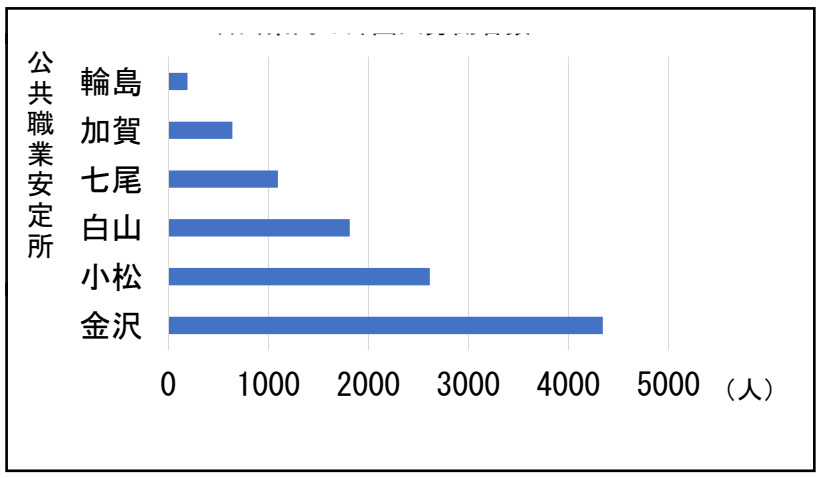
■現状（課題の背景）



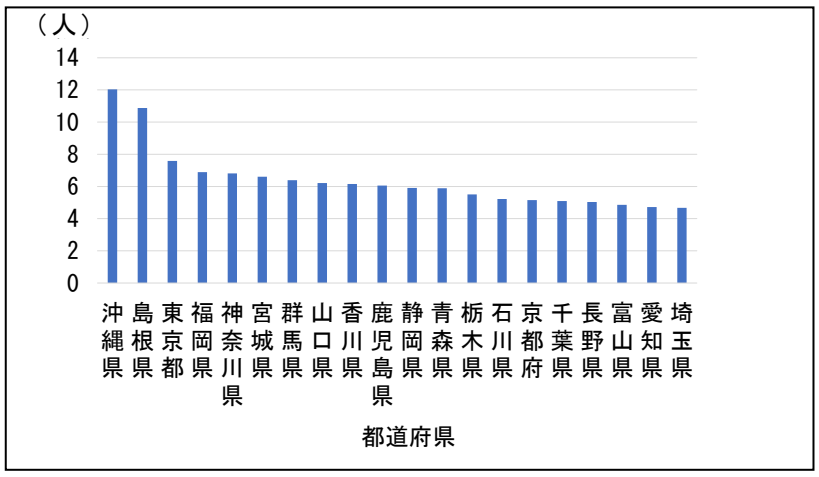
＜図 1. 外国人雇用事業者数及び外国人労働者数＞



＜図 2. 外国人労働者数の国別割合＞



＜図 3. 各市における外国人労働者数＞

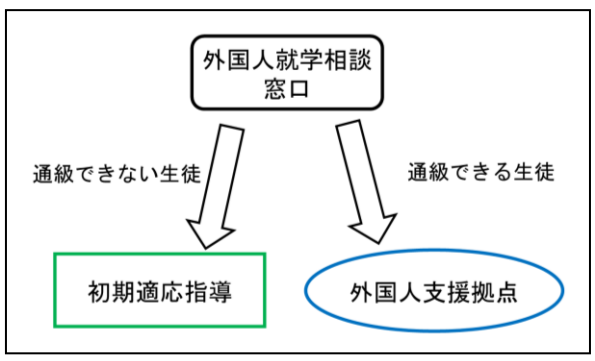


＜図 4 指導者一人当たりの生徒数の上位２０都道府県＞

・図１より外国人雇用者が増えている　・図２より多国籍の労働者がいる
・図３より能登地区の外国人労働者数が加賀地区より少ない　・図４より指導者が不足している

■具体的内容

1. 支援体制の充実
　（1）外国人相談窓口の設置
　　（児童生徒の就学・文化間の問題・就労問題など）
　（2）日本語学習支援の充実
　　①外国籍の児童生徒
　　初期適応指導教室 ─ 通級可能→日本語や日本の習慣、教科学習
　　　　　　　　　　 ─ 通級不可→指導協力者の派遣
　　②学齢経過者
　　・初等日本語教室（夜間）



■参考文献

・石川県の生産年齢人口と外国人労働者数（https://gai-access.com/ishikawa/）
・令和元年度 日本語教育機関実態調査（https://www.nisshinkyo.org/article/pdf/overview05.pdf）
・平成 29 年度日本語教育実態調査の結果
（https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkashingikai/kokugo/nihongo/nihongo_87/pdf/r1408014_11.pdf）
・太田市における外国人児童生徒教育（r1_gaikokujin.pdf（city.ota.gunma.jp））